

大宰府出土木簡概報(第二集)の刊行

昭和五十一年に第一集が刊行されて以来、十年ぶりに第二集がまとめられて刊行された。第二集は、昭和四十九年度以降に出土した二六八点の木簡のうち、主要な一四一点についてその概要を報告したものである。各年度の発掘調査概報『大宰府史跡』で既に報告済みの木簡であるが、積文が訂正されたものが一部あるので注意を要する。収録された木簡は、大別して六地区から出土しているが、その半数以上は大宰府政庁地区の西南隅に接する不丁地区からのものである。不丁地区出土の木簡については木簡学会第六回研究集会で報告され、また本誌第六号でも概要が紹介されている。木簡には紫草関係の木簡一五点、付札五八点等内容的にまとまるものがあり、古代の大宰府を考える上で注目されるものが多い。

なお、本書には古代の大宰府とは直接の関係をもたない中世木簡や板卒塔婆、呪符等も収められている。

九州歴史資料館発行

『大宰府史跡出土木簡概報(二)』

(A四版 八三頁 一九八五年三月刊)

〈申込先〉 福岡県大宰府市太郎左近 九州歴史資料館史料普及会

頒価一〇〇〇円 下二五〇円